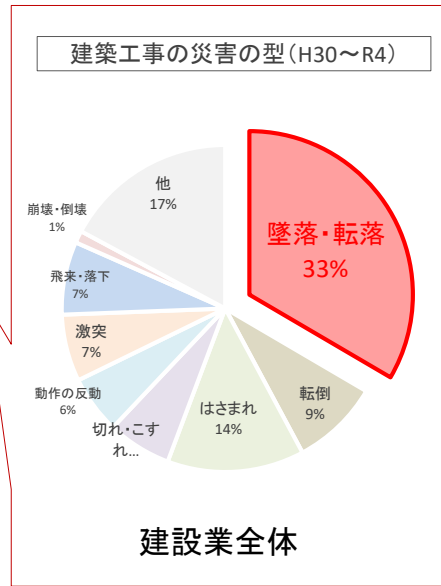
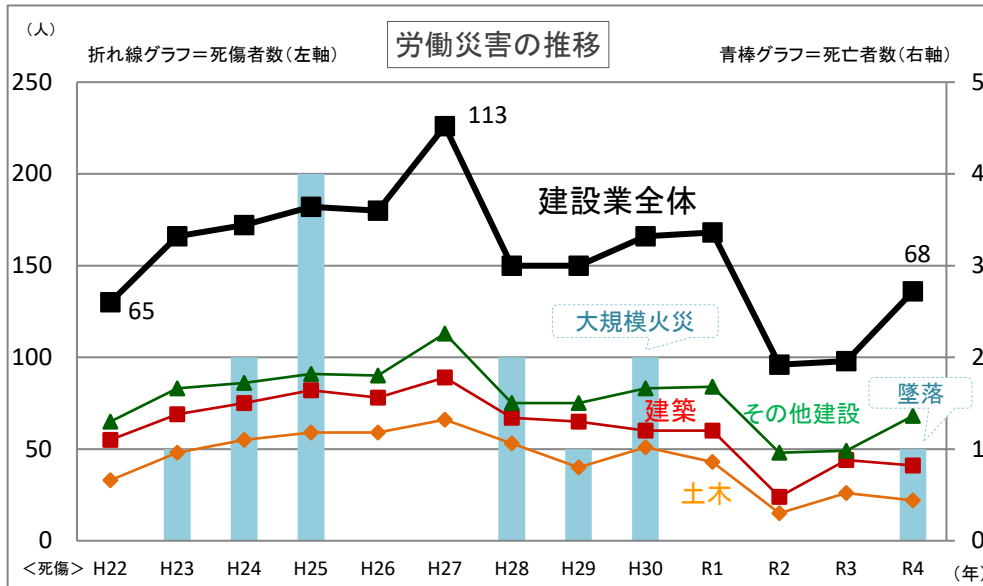


死亡・重篤災害【ゼロ】に向けて

「墜落」「熱中症」「火災」防止の強化

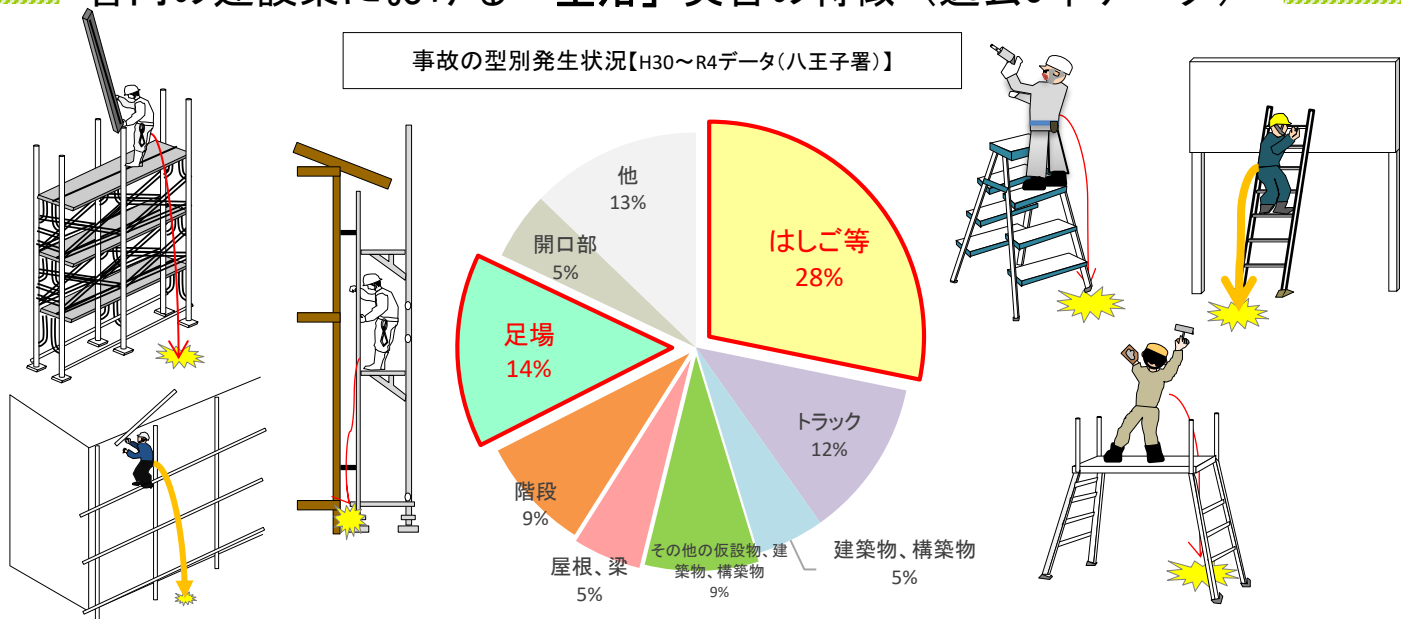
八王子労働基準監督署

管内（八王子、多摩、日野、稲城市）の建設業の災害の発生状況



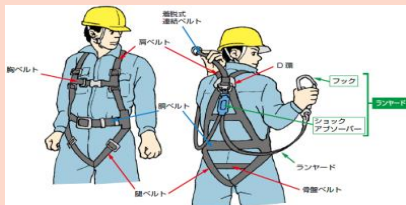
管内の建設業における「墜落」災害の特徴 (過去5年データ)

事故の型別発生状況【H30~R4データ(八王子署)】



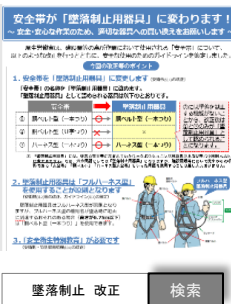
墜落制止用器具の使用

特に「足場の組立・解体時」に使用の徹底
フルハーネス型墜落制止用器具の特別教育
新規格の墜落制止用器具を使用
(R4.1.2より旧規格は使用できません)



フルハーネス型の着用者が墜落時に地面に到達するおそれのある場合(高さが6.75m以下)は「胴ベルト型(一本つり)」を使用できます。

＜関連パンフレット＞



安全衛生教育の徹底

現場監督への意識調査(東京労働局)において、労働災害発生要因として「作業の慣れ」「危険意識の低下」が多く回答

- 安全衛生教育の徹底
 - ▶ 新規入場、送り出し
 - ▶ 雇入れ教育
 - ▶ 職長の再教育...等
- 作業手順の周知状況
(手順内容の確認、周知会の実施)
- KY活動等の形骸化
(改めて活動の意味、目的、進め方を指導)



「墜落」「熱中症」「火災」による災害防止が重点対策

墜落・転落災害の防止について

1.脚立、はしごについて

①まず検討！

□ はしごや脚立の**使用自体を避ける**

□ 墜落の危険性が相対的に低い用具へ変更(ローリングタワー、可搬式作業台、手すり付き脚立等)

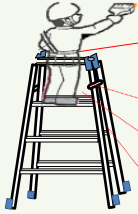


【可搬式作業台(例)】

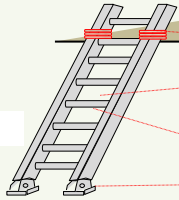


【手すり付き脚立(例)】

②使用する場合の「**ルールの定め**」「**安全使用のポイント**を」教育

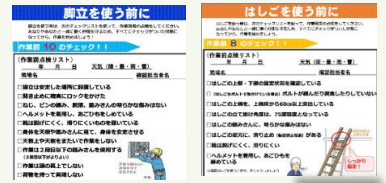


- 身を乗り出さない(位置を直す)
- 天板作業禁止
- 反動のある作業しない
- 3点支持での昇降



- はしご上端固定・突き出し
- はしご上作業しない
- 3点支持での昇降
- 滑動防止(又は補助)

【チェックリストの活用】

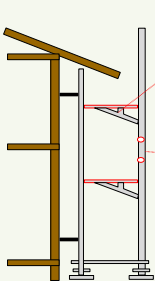


脚立 チェックリスト 厚労省

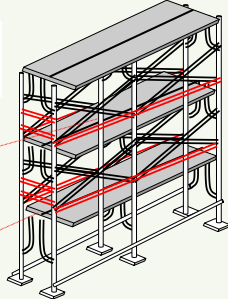
検索

2.足場について

原則、**枠組・本足場(幅40cm以上)**を採用 **組立・解体中の対策の徹底**



- 作業床の確保(幅40cm以上)
- 手すり、中さんの設置
- 下さんの設置(躯体側も必要に応じて)



- 先行手すり採用(適切な手順の徹底)
- 墜落制止器具使用(原則フルハーネス)
- 適切な取り付け設備(親綱等)
- 作業主任者の配置と職務の遂行



<足場の規則改正 R5.10~施行>

1. 一側足場の使用範囲の明確化
(幅1メートル以上の場所では、二側足場の使用を義務)
2. 足場点検者の指名、点検者の氏名の記録

STOP! 熱中症 ～クールワークキャンペーン～

令和5年5月1日から9月30日までとする。
4月が「準備期間」、7月を「重点取組期間」

- 暑さ指数の把握
- 暑さ指数を下げる
- 休憩場所の整備
- 作業時間の短縮
- 服装
- 水分・塩分の摂取
- 熱への順化



掲示するだけでなく、測定結果に応じた対策を!



のどがかわいていなくても

- 健診結果に基づく措置
- 日常の健康管理等



- ①糖尿病
- ②高血圧
- ③心疾患
- ④腎不全
- ⑤精神・神経系の疾患
- ⑥皮膚疾患
- ⑦感冒・風邪
- ⑧下痢



睡眠不足
前日の飲み過ぎ
当日朝食取ったか

- 労働者の健康状態の確認(作業員同士、巡視等)



- 暑さ指数の低減対策が実施
- 各労働者が暑さに慣れ
- 各労働者の体調は問題
- 作業の中止や中断の有無
- 水分や塩分の摂取

- 異常時の措置



迷わず救急車を呼びましょう!

異変を感じたらすぐ病院が救急車呼ぶ(教育、周知)

<熱中症ポータルサイト>

熱中症の発生の仕組・症状教育資料・eラーニング動画対策事例WEB講習会の案内・・・など是非活用を!

学ぼう! 働えよう! 職場の仲間を守る! 職場における熱中症予防情報



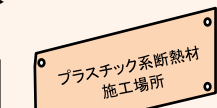
火災による災害防止

<引火性・可燃性のある物の把握>

- 火気作業を含めた作業計画の作成
- 危険性を労働者に周知
- RAの実施

<施工場所への周知、注意事項>

- 施工場所の表示「火気使用禁止」
- 消火器
- やむを得ず作業のある場合
- 作業指揮者
- 消火設備(作業場のすぐ近く)
- 不燃性シート等



解体等工事にかかる石綿対策

- 事前調査結果のシステム報告(R.4.4~)



パソコン・スマホから24時間報告できます



- 事前調査を行う者、講習修了者(R5.10~)

- 工事の対象部材について、石綿の有無の調査「目視、書面(設計図書等)」
- 作業の実施状況を写真で保存(3年保存)
- 隔離を解く前に取り残しがないかの確認
- 石綿含有仕上げ塗材、成型板の除去規制

石綿総合情報ポータルサイト

検索



第14次労働災害防止計画(初年度)推進中

~トップが発信! みんなで宣言 一人一人が「安全・安心」~

※時間外労働の上限規制が令和6年4月1日から適用されます
八王子労働基準監督署 R5.4作成